

第7回 利根町さくらまつり 開催のお知らせ

第7回利根町さくらまつりが下記の日程で開催されます。ご近所やご友人をお誘いあわせの上、ぜひ遊びに来てください。

●開催日 4月7日(土)・8日(日)

●開催場所 役場イベントホール・駐車場



イベント内容

- ウォーキング(歩く会、いきいきクラブ)
- ステージショー ●さくら市場 ●野点(茶道)
- あさひカフェショップ ●竹灯籠とキャンドルのタペ
- ライトアップによる夜桜
- 輪投げ
- ミニトレイン・足湯 など



▲大人も童心に返って出発進行！

◀ろうそくの明かりが、幻想的な雰囲気演出してくれます。

運営ボランティア募集！

さくらまつりの実施期間中、運営をお手伝いして下さる方を募集します。

作業内容は、ステージショーの段取り手伝い、竹灯籠の配置・撤去。夜桜ライトアップの器具の配置・撤去。ミニトレインのレール配置・撤去など。

さくらまつりを盛り上げるために、住民皆さまのお力をお貸しください。運営ボランティア可能な方は、下記担当者まで事前にお申し込みください。

問い合わせ先 さくらまつり実行委員会長 石橋 達夫
☎090-7239-0716

※お電話の時間帯によっては、折り返しのご連絡になりますので、ご了承ください。



商工会だより 商工貯蓄共済のご案内 ～小さな掛金・大きな安心を～

『商工貯蓄共済』は、毎月わずかな掛金で知らず知らずのうちに積み立てられた資金が、利息が付され満期時に払戻されるほか万が一の場合には保険金とともにそれまでの貯蓄積立金が払戻されます。

また、低利な融資の斡旋が受けられるなど、『貯蓄・融資・保険』が三位一体となった、会員の相互扶助の精神に基づき実施される共済制度です。

内容

- ①貯蓄 (毎月の掛金より年払の保険料を差し引いた残りが貯蓄積立金となります)
- ②融資 (積立金範囲内融資と保証協会付融資の2種類の融資があります)
- ③保険 (被保険者が死亡された時、または高度障害状態になられた時に支払われます)

加入対象者

商工会員・家族・従業員で6歳～65歳の方

掛け金

一人につき2,000円を1口として10口まで

加入期間

10年

問い合わせ先 利根町商工会 ☎68-7417

お子さまの教育資金を

「国の教育ローン」(日本政策金融公庫)がサポート！

高校、大学などへの入学時・在学中にかかる費用を対象とした公的な融資制度です。

【ご融資額・金利】 お子さま一人あたり350万円以内 年1.76%
※母子家庭、父子家庭、世帯年収200万円以内の方または子供3人以上の世帯かつ世帯年収500万円以内の方は年1.36%

【ご返済期間】 15年以内

※交通遺児家庭、母子家庭、父子家庭または世帯年収(所得)200万円(122万円)以内の方は18年以内

【ご返済方法】 毎月元利均等返済(ボーナス時増額返済も可能)

【保証】 (公財)教育資金融資保証基金

連帯保証人による保証も可能です。詳しくは、HP(「国の教育ローン」で検索)または問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先 教育ローンコールセンター
☎0570-008656(ナビダイヤル)
☎03-5321-8656

契約前に要チェック！

・契約書をよく読む！

(「退去時のリフォーム費用を賃借人が支払う」という記載(特約)がある場合は、支払われる場合あり！)

・入居前の

立ち会いはしっかりと！

(部屋の傷など不動産業者と一緒にチェックし、証拠の写真も撮っておきましょう！)

参考：(財)不動産流通近代化センター
(独)国民生活センター

おかしいと思ったら、
ご相談ください！



若い人が就職や転勤で賃貸アパートを契約することの多い時期ですが、退去時のトラブルを避けるには、入居前からのちよつとした注意が必要です。

退去時に多いのは、借りた人が床や壁につけた傷や釘穴、手入れが悪くてカビを発生させた補修費用などを請求される場合、さらに黄ばんだ壁クロスや畳の交換費用まで支払うように言われたなどがあります。またその費用の見積もりが高過ぎるという相談も多くあり、敷金をはるかに超える金額を請求されることも少なくありません。賃貸住宅の退去時の事例区分は、国土交通省の「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」に詳しく掲載されています。

経年変化で自然に黄ばんだ畳や壁紙、普通に使っていたことによる汚れや消耗は貸主の負担となります。

しかし、賃借人が故意や過失で汚損したとき、例えば床や壁に傷をつけたり、たばこのヤニ・おいでりリフォームが必要になった場合などは補償の責任が生じるでしょう。

消費生活相談だより
～若者の賃貸住宅のトラブルにご注意！～

相談窓口 ①役場経済課 消費生活相談窓口 毎週水曜日 午前10時～午後5時(正午から午後1時までの時間を除く)

☎68-2211(内線322) お電話や匿名でも消費生活相談員がご相談をお受けします。

②茨城県消費生活センター 毎週月曜日～金曜日、日曜日(電話のみ) 午前9時～午後5時

☎029-225-6445

③土曜日、祝日は188(国民生活センターにつながります。)

なお、近隣市町村へのご相談はご遠慮ください。

とねまち 歴史探訪

第七回
水神宮物語(押付本田)
その③



▲供養塔

水神宮を参拝すると、鳥居の横の大きな石碑に気づかれるでしょう。

“南無阿弥陀仏”と記された供養塔です。これは江戸の芝増上寺で名僧と謳われ、時の將軍徳川家宣から絶大な帰依を受けた祐天上人の六字名号。下には小さく名前と花押、蓮の花も彫られています。

左側面を見ますと、江戸にまで名を広めた書家、杉野東山の揮毫による供養塔建立の由緒が記されています。『利根町史』第五巻の全訳を要約すると――信心深い星野一楽という布川の人

が重い病氣にかかったものの、霊夢により一命を取りとめた。これは念仏信仰の功德によるものとして、同志と相談の上、近隣に六阿弥陀の霊地を定め、供養塔を建立することとして、文政十年(一八二七年)に完成した――と、述べられています。

供養塔は布川、布佐、木下、にまで名を広めた書家、杉野東山の揮毫による供養塔建立の由緒が記されています。『利根町史』第五巻の全訳を要約すると――信心深い星野一楽という布川の人

枯草になさけの露やかりの宿
みのりの緑を結ぶめでたさ――



▲力石

力石について
水神宮には利根町で最も多い、9基もの大きな漬物石のようなものが転がっています。これは力石と呼ばれるもので、重い石を遠くまで運ぶことを競い合う行事があったようです。

この力石、水神宮の中の一つには『野州猿田 田嶋藤治郎 三十貫目』と刻まれています。(三十貫は一二・五キログラム)これは、栃木県の足利市猿田町であることが判明。渡良瀬川に面し、船運の終点の河岸でした。古河經由利根川水運とも結びつき、江戸へも通じていました。力石の田嶋藤治郎氏も遠く猿田河岸からここ押付の地まで来航していたことを想うと感慨深いものがあります。近々スーパー堤防へ移転されますが、できるだけ元の姿を失わない形で、残されるよう望まれます。

寄稿 利根町歴史探訪の会
白井清司 氏